

春季大型連休安全推進活動実施!

令和4年5月5日(木)の子供の日に、塩竈市内の籬(マガキ)漁港において、親子連れを対象として開催された「第25回子供の日・釣り船フェスティバル」にあわせ、春季大型連休安全推進活動を実施しました。同イベントの開会式において、海上安全サポーターの谷田圭さん、横山美佳さんと宮城海上保安部が連携し、参加者(親子25組)に対して、遊漁船の出港前に海難事故防止講習会を開催し、救命胴衣の適切な着用方法や海の緊急ダイヤル「118番」等について周知しました。

また、同講習会が終了し、子供たちが乗船した遊漁船の出港を見送った後、引き続き同漁港内で釣りをしている方々に対し、救命胴衣着用啓発に係るリーフレットの配布及び救命胴衣着用の声掛けも併せて実施し、安全意識の向上を図りました。

なお、これらの活動は、複数のテレビ局が取材に訪れ、私達が活動している状況が大きくテレビニュースで放送されました。テレビを通じて多くの方々に私達の活動を認知してもらい、非常に効果的な安全啓発活動が実施できたと思っています。

これからも宮城海上保安部では、海上安全サポーターの皆様方と連携し、宮城の海をより安全にしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



宮城保安部所属巡視船艇の活動紹介



給水支援情報の拡散にご協力ありがとうございました

令和4年3月22日に福島県沖で発生した地震の影響により、停電及び断水した福島県相馬市において、宮城海上保安部所属『巡視船まつしま』による給水・充電支援を行いました。

当庁公式ツイッターにより、支援情報を投稿していましたが、サポーターの皆様SNSによる情報発信などのご協力をいただきました。皆様の周知により、多くの人々に情報が伝達され、沢山の被災者が給水・充電支援を受けることができました。



総いいね・リツイート数
いいね：6701件
リツイート：1792件

海上安全アンバサダー 谷田圭さんに感謝状を贈呈

令和3年11月から開始した海上安全サポーター制度について、谷田圭さんは、SNSやラジオで海上安全サポーターの登録を呼びかける等、積極的にサポーター制度の普及を図っていただき、新たに多くの方に登録していただいたほか、自身が出演するラジオで宮城海上保安部と合同で海上保安業務の紹介や職員募集活動にご協力いただきました。

このため、この功績をたたえ3月24日、宮城海上保安部長から感謝状を贈呈しました。



海中転落事故発生

令和4年4月某日、宮城県塩竈市内の漁港において、船の給油作業を実施していた作業員が、岸壁から船に乗船する際に誤って海中転落しました。事故者は救命胴衣を着用しておらず、そして、濡れた衣服が身体に張り付いた状態で岸壁や船に這い上がれない状況であり、併せて、単独で作業を実施していたため、周囲に救助を求めたこともできませんでした。たまたま、事故者の携帯電話が水没せず、職場の同僚に救助を求めることができましたが、もし事故者の携帯電話が水没していたら、救助が遅くなり、より危険な状況となった可能性が高い事故でした。

今回の事故を受け、海上安全サポーターの皆様には、次の項目についてSNS等で広く周知していただければ幸いです。

- ① 海で活動する時は必ず救命胴衣を着用する!
- ② 携帯電話は防水パックに入れて携帯する!
- ③ 複数人での活動を心掛ける!
- ④ 事故にあった時や目撃した時は直ちに海の緊急番号「118番」に通報する!

海をより安全にするためにこれからも連携していきましょう!

企画中の活動情報

現在、宮城海上保安部では、県内のプールを利用した海の安全教室（※浮いて待て）や、県内の著名海水浴場における海浜清掃、港内における釣り人への安全啓発活動等、サポーターの方々と一緒に活動できるイベントを企画しております。詳細が決まり次第、当部からお知らせいたしますので、是非ともご参加ください!

※浮いて待てとは→着衣状態で海中転落した際に、背浮きの状態で落ちていて救助を待つ技術をいいます。



サポーター加入状況

- ・サポーター(個人)：40人
- ・サポーター(団体)：2団体
- ・ジュニアサポーター：38人
- ・アンバサダー：1人

海上安全クイズ (2月号のこたえ)

Q 海でもしも事件・事故に遭ったらどこに電話する?

- ① 110番
- ② 119番
- ③ 118番

正解は

